

活用効果評価結果

公開版

平成30年度

中部地方整備局 / 新技術活用評価会議

NETIS 情報	開発目標	耐久性の向上、周辺環境への影響抑制、品質の向上																			
	新技術登録番号	KT-160095-VR	区分	材料	有用な技術の位置づけ	無し															
	分類	共通工 - 薬液注入工 - 薬液系 - 特殊シリカ系																			
	新技術名	ハイドロフィット工法(含浸複合注入工法)																			
	比較する従来技術(従来工法)	有機溶剤による密着工法																			
	新技術の概要及び特徴	本技術は漏水工事を無機系による含浸注入工法により、漏水補修及中和化抑止する技術である。本技術の活用により引火性有毒ガスの発生もなく安全性の向上、工程短縮、品質、耐久性、景観保護、経済性、施工性の向上を図ることができる。																			
活用効果評価	所見	別紙「試行実証評価(1年後)結果」参照																			
	次回以降の評価に対する視点と評価の必要性	品質・耐久性評価を行うため、今後4年間の暴露試験を継続調査する必要があるため、引き続き継続調査を実施することとする。よって、情報識別記号は「-VR」とする。			項目の平均(点)と従来技術(従来工法)(点)の比較																
	留意事項																				
	活用効果調査表における改良点及び要望																				
参考	対象工事	1	施工性の良好なコンクリート含浸材技術(中和化対策)	従来技術:	有機溶剤による密着工法	テーマ設定型															
		2		従来技術:																	
活用効果調査結果	項目	ケース番号および年度	1	2	3	4	5												項目の平均(点)	従来技術(従来工法)(点)	
		H29																			
	施工時評価	経済性	-																	-	C
		工程	-																	-	C
		品質・出来形	-																	-	C
		安全性	-																	-	C
		施工性	-																	-	C
		環境	-																	-	C
		その他																			
	総合評価点	-																	-	C	
今後、当該技術を活用出来る工事に活用したいか	今後是非活用したい	活用を検討したい	場合によっては活用することもある	技術の改良を強く望む	各項目における判定																
	-	-	-	-	A	従来技術より極めて優れる															
					B	従来技術より優れる															
					C	従来技術と同等															
					D	従来技術より劣る															
追跡調査の必要性		長期的性能評価を実施するため追跡調査は必要である。																			
追跡調査		今後4年間の追跡調査を実施する。																			